

前場市政二期目スタート

8月24日、前場文夫市長の二期目がスタートしました。
任期初日の24日に初登庁した前場市長は、「市民の皆さまとともに、希望に満ちた結城市を築き上げていきたいと思っております。」と抱負を述べました。

子供たちが成長しやすい環境づくり

結城市の将来を担う子どもたちは本市の宝です。子どもたちが健やかに成長し、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます。

●妊娠・出産から子育て期までの支援体制づくり

妊産婦や子ども（高校生相当まで）の医療費の一部を助成し、子育て世帯の経済的負担を減らします。（高校生などについては平成27年度から拡大）

●鹿窪運動公園多目的運動場の活用検討

子どもたちの運動能力向上や地域経済の活性化などのため、鹿窪運動公園の多目的運動場をサッカー場として活用できるように整備を行います。

め、鹿窪運動公園の多目的運動場をサッカー場として活用できるように整備を行います。

●病児保育の継続

需要が高い病児保育を引き続き実施することで、子育てと就労の両立を支援し、安心して子育てできる環境を整えます。

●小学2年生からの英語授業の充実

次世代を担う子どもたちが英語の基礎や国際感覚を身に付けられるよう、小学校2年生から英語授業を開始し、コミュニケーション能力の向上を図ります。

市の発展の核となる拠点づくり

各分野の発展の核となるような「拠点」を市内各地域につくり、全市が均衡して発展するようまちづくりを進めます。

●防災拠点としての市庁舎の整備推進

市の防災拠点である市庁舎について、計画的な財源の確保と慎重な作業進行を念頭に整備を目指します。

また、跡地は北部市街地の活性化につながる施設の検討・整備を進めます。

●新たな工業団地造成に向けた取組み

上山川北部地区に新たな工業団地を開発するため、各種



前場文夫市長プロフィール

ぜんばふみお。1943年(昭和18年)3月3日生まれ。72歳。栃木県立栃木高等学校卒業。日本大学経済学部中退。結城市議会議員7期。その間副議長、議長、筑西広域市町村圏事務組合議会議員など要職を歴任。結城市監査委員2期。元(社)結城青年会議所理事長、結城商工会議所常議員、結城地区交通安全協会第一支部長。趣味はウォーキング、旅行、読書

“均衡のとれた市の発展により 小さくともきらりと光るまちづくり” を進めます

調査を行うとともに、関係機関などと協議・調整を進めます。

●市立公民館および分館の整備
老朽化した市立公民館の整備方法を検討するとともに、公民館事業の全市的な展開を図るため、各地域に分館を設置し、市民の生涯学習を推進します。

●山川不動尊周辺地区の整備
歴史資源を活かしたまちづくりの推進および市南部地域の交流拠点として、山川不動尊周辺地区の整備を進めます。

●結城紬の振興と観光の活性化
国重要無形文化財・ユネスコ無形文化遺産として、結城市が世界に誇る「結城紬」の振興を図るとともに、見世蔵の町並みなど優れた資源を活用し、観光の活性化を目指します。

安心・安全な住みよいまちづくり

子どもからお年寄りまで、全ての市民が安心・安全に暮らせるまちづくりを進めます。

●土地区画整理事業の推進
定住人口を確保するため、土地区画整理事業の早期完了と、良質な宅地整備を進めます。

●デジタル防災行政無線の整備

災害時の情報伝達手段として、屋外拡声器型デジタル防災行政無線システムを整備し、災害情報などを素早く確実に提供できるようにします。
(平成28年度までに市内全域に配備予定)

●道路整備事業の推進

歩行者の安全確保や、地域間交通の円滑化および利便性向上を図るため、道路整備事業を推進します。

●農地・農道の整備促進

本市の豊かな農産物の搬出効率化や荷傷みなど防止のため、農道整備を推進するとともに、農作業の機械化を促進します。

●公園施設の充実

良好な市街地を形成するため、下り松中央公園整備工事を実施します。また、公園が市民の憩いの場となるよう適切な管理を行います。

このほか、若い世代を呼び込むための「医療福祉系大学の誘致」や栃木県小山市との連携が期待できる「市北西部地域の開発」などを目指していきます。



皆さんの『声』をお待ちしています

日常生活や地域での課題、市政に対する建設的な提案など、皆さんのご意見をお聞かせください。

■市政懇談会

各地区の自治協力員が取りまとめた要望に、市長や市の執行部が直接回答します。
毎年10月ごろに開催しています。

■市長と語る対話集会

市長がそれぞれの地域を訪問し、市政について直接市民の声をお聴きします。自治組織や公共団体などを対象とします。

■市長へのご意見箱

市民提案制度として、市制に関するご意見・ご提案を郵送やインターネットで受け付けています。

※今月号の裏表紙にある無料封筒や、市ホームページから投稿ください。

